広報幸田

発行　額田郡幸田町
第67号　編集　幸田町企画室
印刷　岡崎活版所

農業構造改善事業認定される

昭和三十八年度実施分に対して!!

みかん園開こんも近く着手

昭和三十八年度に実施する農業構造改善事業年度別実施計画の認定がこのほどありました。これで本格的に農業構造改善事業が実施できる運びとなったわけであります。

次年度に実施する事業はすでにお知らせしてありますので、ご承知のことと思いますが、元づ土地基盤の整備を主として行い、三十九年以降は産業近代化施設として畜舎、鶏舞舎施設、トラクター、定置配管、集荷所などを行って、米・畜産・果樹の大主産地を形成して機械化・協業化等により省力栽培を行い、自立農家を育成するものであります。すでに本年実施分に対しては北部地区の高力、新田においては区画整理、一般農道を昨年十二月から実施に入り、又桐山、上六栗地区は入札を終え近く、みかん園の開こんに着手致します。

西部地区（桐山・上六栗）開こん事業入札終る

みかん園造成のため桐山九・八一ヘクタール、上六栗七・七ヘクタールの開こん事業の入札は、一月八日午後一時三十分から、各地区の代表者、指名入札業者五名と立会人として西三河事務所山崎係長、役場係員を通じて開かれ、最低入札業者は吉良建設株式会社に決定いたしました。

桐　山　一〇、六七八千円
上六栗　七、二九三千円

の事業費で本年三月には関部落会せて一七・五一ヘクタールのみかん園が造成されます。

北部地区は米と既で西部・須美地区はみかん

このようにして土地基盤の整備によって北部地区は一区画三〇アール以上の区画になって大型トラクターの運行が可能になり、省力によってういた労力は肉豚飼育六〇〇〇頭がなされます。又西部・須美地区においては昨年開拓パイロット事業によって逆川で二二ヘクタール、本年度の須美地区二十五ヘクタールや既設園や自己開墾をめ含て、一大みかん産地が形成されますので今後の農業構造改善事業の進展は認定分の内容は次の表のとおりです。

事業種目	実施地区名所	事業主体	補助主体	受益戸数	事業量	事業費	国庫補助
				戸		千円	千円
土地基盤整備							
区画整理	北高　部力	高力土地改良区	左同	79	ha 27.5	13.400	6.700
一般農道	北新　部田	新田耳目土地改良区	左同	185	ha 3.992	6.847	3.423
集団みかん園造成	西　部	桐山組合	左同	23	ha 9.81	10.678	5.339
〃　〃	西上六　部栗	上六栗組合	左同	25	ha 7.7	7.293	3.646
小　計						38.218	19.108
農業近代化施設							
トラクター	北　部	幸田農協	同左	340	39.5 1台	2.130	1.065
小　計						2.130	1.065
計						40.348	20.173

人口動態

（39.1.1現在）

総人口		17.273人
内	男	7.886人
	女	9.387人
世帯数		3.088戸

12月中の異動

出生	17人	男	8人
		女	9人
死亡	12人	男	3人
		女	9人
転入	64人	男	41人
		女	23人
転出	219人	男	92人
		女	127人

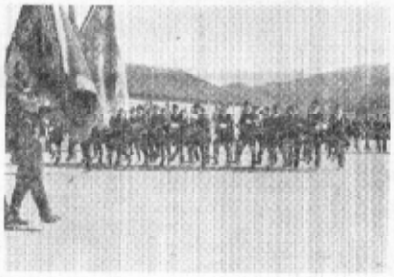
かけ声勇ましく……

幸田町消防団出初式挙行

快晴に恵まれた一月十日、幸田中学校校庭において恒例の消防団出初式が挙行されました。若さあふるる一〇〇名の少年消防クラブ員の参加を願い、式は午前九時に始まり、来賓多数注視の中を消防操法、小隊訓練と次々に演じ、日頃鍛えた腕を十二分に発揮されました。なお多年消防に忠誠された方々の賜れの表彰式もあわせて行なわれ、それぞれの賞を受けられました。

◎愛知県消防協会表彰

○精勤章
第四分団　副分団長　長谷　建
〃　部　長　榊原　登
第三分団　副分団長　牧野　一夫
○善行賞
第一分団　副分団長　山本　信夫
〃　部　長　山田　秀夫
第二分団　副分団長　小池　新行
〃　部　長　石川　常夫
第四分団　副分団長　坂本　政雄
〃　部　長　小山　雄治
第三分団　副分団長　谷山　栄夫
○第三分団　副分団長　岡崎　清
〃　部　長　内藤　一
〃　副分団長　近藤　大夫
〃　部　長　稲田　邦夫
〃　副分団長　吉年　志郎
〃　部　長　永本　一
◎新西第三分団　副分団長　加藤　元
第四分団　副分団長　山本　台
〃　部　長　永谷　秀夫
〃　副分団長　表　登
◎幸田町長表彰
○第四分団　副分団長　長谷　建
〃　部　長　榊原　登
第三分団　副分団長　牧野　一夫



法人税の申告についてお願い

このたび税務署では、一月申告分から、法人税の延納届出様式を改めましたので、今後申告と同時に納付する法人税額がある場合には、延納の手続きをしないときでも、お手数ですが、申告書をお出しになるときは、延納届出書も同時に、お出しいただくようお願いいたします。

なお、この延納届出書の用紙は、申告書用紙と同封してお送りいたしますが、お出しいただいた延納届出書は、税務署の納税の台帳に使用することになっています。

岡崎税務署

昭和38年9月15日現在調整

基本選挙人名簿登載者数

区名	男	女	計	区名	男	女	計
第一投票区				第五投票区			
坂　部	96	94	190	足　助	234	261	495
久保田	103	96	199	足　谷	151	173	324
坂　南	375	419	794	市　場	275	292	567
計	568	609	1.177	足　川	71	65	136
第二投票区				計	731	791	1.522
高　力	157	158	315	第六投票区			
大　草	338	468	806	六　栗	112	124	236
荒　田	269	270	539	上六栗	115	136	251
計	824	896	1.720	桐　山	120	124	244
第三投票区				計	347	384	731
岩　堀	411	449	860	第七投票区			
筒　塩	65	71	136	野　場	351	406	757
三　栗	34	248	273	須　美	143	149	292
〃　社	87	94	181	永　野	92	103	195
計	587	862	1.449	新　田	46	59	105
第四投票区				計	632	716	1.348
幸　田	293	323	616				
深　谷	315	333	648				
荻	176	201	377				
計	784	857	1.641	合　計	4473	5115	9.588

（38.12.20確定）

今春入学を予定されるお子たち

「かあちゃん、もういくつ寝ると学校へゆけるの……。」と指おり数えて待っている可愛いお子様たちの入学記がやってきいりました。

今年入学を予定されている方々は次のとおりですので、記載もれ又は名前の誤り等がありましたら、すみやかに幸田町教育委員会事務局までご連絡ください。

（電話でも結構です。一〇五番）

尚本年四月の入学者は昭和三十二年四月二日生れから昭和三十三年四月一日生れの方ですからおまちがいのないようにお願いします。

幸田町教育委員会

【長縄】吉野輝美、藤江やよい、中村弘治、木田直子
【久保田】鈴木節子、野沢智恵子、杉浦明人
【坂南】小山志のぶ、近藤見栄、鈴木千恵子、平岩孝之、村越義明、平岩何夫、三浦正明、林あき子、渡井義正、渡井るみの、渡井守政、杉浦幸子、杉浦友子、杉浦輝男、佐竹日男、平岩かをる、山本日登美、小島幸子、酒井京子
【大草】増田三美子、坂巻美、足立元弘、伊藤佳美、水野直一、杉浦清一、杉浦道弘、杉浦厚夫、斉藤ひろ、鈴木正人、天野雪昭、清水三枝子、鈴木利幸、伊藤信、羽根田正和、神井康子、川口澄男
【荒田】加藤恵子、佐野三咲、柳原千賀子、永井福一、山本政志、浜田幸雄、北村真由美、伊藤理子、内藤道子、都築真樹、嘉野純子、山崎友則、牧野登、山田晋也、小田隆文、伊与田方子、宇部野照代、山田治、新美悦子、中山悦子、服部多美子、長谷剛一、渡辺茂、山本勇治、近藤喜代美、鈴木啓子、長尾健二
【幸田】長谷部子、山本隆雄、志賀博幸、金沢宗一郎、鈴木巧、平岩政昭、児玉邦夫、大熊宏美、岩川和子、小田忠吉郎、山田孝二、三浦房男、佐藤忠保美、山崎みは、鈴木淳子、中村和子、坂本登子
【桐山】長谷たつ彦、長谷明美、長吉妙子、鵜下英次、長谷和子、竹村重大
【上六栗】赤瀬清二、大熊賀高、志賀和子
【六栗】志賀恵美子、鈴木一郎、安野きつき、越山真子、志賀善彦
【野場】大熊賀隆、大熊賀幸子、大熊賀幸雄、左右田吉己、大熊賀孝夫、永井義弘、鈴木雄一、天野宣子、杉浦茂、山本和三、永井光雄、坂本清美、山本万喜子、天野賀久、近藤藤子
【須美】加藤隆弘、田幾美和子、内野敬美、近藤雄
【永野】山本節子、山本典之
【新田】近藤博之、伊藤嘉英、岩鍋雅美、岩鍋正明、大竹哲男、小島幸江、竹本光峰、池野留弘、鳥野美子、神服美恵子、日根久美子、斉藤孝、斉藤千恵子
【市場】天野清美、長谷治巳、竹内美智子、日高有子、畔柳広夏、宮田祥治、森田利行、大竹則子、三浦政人、三浦準一、三浦きわ子
【藤谷】村越きみ江、村越晃、峰谷政治、山本三枝子、鈴木由紀夫、峰谷幸恵、堀江和子、千賀敏子、田辺八重子
【逆川】榊吉久美子、榊吉明典、青日步節夫、榊吉よし子、榊吉陽子、稲吉千津江、榊吉裕子、長谷部雅、春日井吉広
【足】近藤博之、伊藤嘉英、岩鍋雅美、岩鍋正明、大竹哲男、小島幸江、竹本光峰、池野留弘、鳥野美子、神服美恵子、日根久美子、斉藤孝、斉藤千恵子
【市場】天野清美、長谷治巳、竹内美智子、日高有子、畔柳広夏、宮田祥治、森田利行、大竹則子、三浦政人、三浦準一、三浦きわ子
【藤谷】村越きみ江、村越晃、峰谷政治、山本三枝子、鈴木由紀夫、峰谷幸恵、堀江和子、千賀敏子、田辺八重子
【逆川】榊吉久美子、榊吉明典、青日步節夫、榊吉よし子、榊吉陽子、稲吉千津江、榊吉裕子、長谷部雅、春日井吉広
【野場】大熊賀隆、大熊賀幸子、大熊賀幸雄、左右田吉己、大熊賀孝夫、永井義弘、鈴木雄一、天野宣子、杉浦茂、山本和三、永井光雄、坂本清美、山本万喜子、天野賀久、近藤藤子
【須美】加藤隆弘、田幾美和子、内野敬美、近藤雄
【永野】山本節子、山本典之
【新田】近藤博之、伊藤嘉英、岩鍋雅美、岩鍋正明、大竹哲男、小島幸江、竹本光峰、池野留弘、鳥野美子、神服美恵子、日根久美子、斉藤孝、斉藤千恵子
【市場】天野清美、長谷治巳、竹内美智子、日高有子、畔柳広夏、宮田祥治、森田利行、大竹則子、三浦政人、三浦準一、三浦きわ子
【藤谷】村越きみ江、村越晃、峰谷政治、山本三枝子、鈴木由紀夫、峰谷幸恵、堀江和子、千賀敏子、田辺八重子
【逆川】榊吉久美子、榊吉明典、青日步節夫、榊吉よし子、榊吉陽子、稲吉千津江、榊吉裕子、長谷部雅、春日井吉広

○男　子　一二五名
○女　子　一一六名
◎計　二四一名
（昭和三十八年十二月調査）

町営住宅神山団地 入居者募集

先頃発行幸田公報一月一日号に御案内申上げました町営住宅神山団地の入居希望者次のとおり募集いたしますので入団を希望される方は規定の用紙にて申込ください。

一、申　資格　別回案内および案内書のとおり。
一、提出書類　入居申込書
一、添付書類　戸籍謄本又は抄本
証明書（昭和三十八年度）を収入のある同居親族全員納税証明書○健康保険被保険者のある者はその証明書○恩給年金等の収入ある者はその等○生活保護世帯（ない場合民生課保護証）
一、書類（申込用紙）の配布期日一月十六日（木曜日）から一月二十二日（水曜日）まで（除日曜）
一、受付期間　一月二十日（日曜日）から一月二十九日（水曜日）まで
一、受付場所　幸田町役場建設課土木係
一、家　賃　二千円（内定）
入居決定者に通知
一、敷　金　五千九百十円

◎注意
一、申込みは本人又は家族に限る
一、申込みは一世帯一個所に限る
一、入居申込書に記載した内容が実態と相違する場合は入居の権利を取消す。詳細については入居申込用紙の配付と同時にお渡しします。

心配ごと相談日

一月二十二日
二月十二日
二月二十六日

※お宅の家屋の評価をします※

固定資産税の基礎となる固定資産の評価替えが39年度より実施されることは、既に御承知のとおりであります。この評価替えで土地家屋、償却資産の新しい課税額を決める訳で当町も1月下旬より全域にわたって家屋の評価をいたします。この評価替えの主管については、土地評価のときに申し上げましたとおり、いままでのバラバラの評価基準を統一して、各地方公共団体が均衡のとれた課税を実施する、という目的によるわけで、評価の対象は、専用住宅、併用住宅、長屋住宅、木造家屋、非木造家屋全般にわたります。

何分にもこの家屋評価は、新築後の経過年数を始め、お宅のすみずみまで見させていただかなければ出来ないという要請でありますから、何分の御協力を御願い申し上げます。

なお実施期日については1月14日開催の評価補助員会に諮ってから次号でお報え申し上げます。以上

山岳部が奉仕

去る十二月末日、幸田町の「とぼね山岳部」が不動の滝を中心に、頂上までのハイキングコースを清掃したり、道標等の修繕を一泊二日の合宿訓練をかねて行いました。

これも一所年部員が一生懸命作った道標ですが、今行って見るとわれてあったり、さしかえてあったりで誠に残念です。町民の皆さんのご協力でこんなことのないように、お互いに注意をしましょう。

幸田町公民館

議会だより

◎建設委員会調査会
一月九日（木）午前九時開会、午後五時三十分閉会
場所、幸田町議会第一会議室
出席委員九名
調査事項
一、土木事業現地踏査
二、所管事務調査

◎総務委員会調査会
一月十二日（土）午前九時三十分開会、午後〇時三十分閉会
場所、幸田町議会第一会議室
出席委員　八名
調査事項
一、所管事務調査

商工だより

(1)商工会関係の諸様のため十二月一日発足致しました商工貯蓄共済の内容についてお知らせいたします

一、この制度の特色
1、掛金は安くて掛けやすい一口千円で五年の短期です。
2、保険金は極めて有利です。
3、手続は簡単で加入払込保険金の支払などすべて役員で代行します。
4、商工会の財政確立に役立ちます。
5、税金が安くなる。年間保険料額が所得から控除されます。
6、低利融資を致します。

二、加入いただける人
1、商工会の会員及家族と従業員の人
2、年令満十四才七ヶ月以上七十才六ヶ月までの人なら一口まで加入できます。
3、診査を要しないもの十四才七ヶ月以上五〇才六ヶ月までの人
4、診査を要するもの五〇才七ヶ月以上の人

三、生命保険の配当金について
五ヶ年満期後生命保険に対する配当金を支払います。

四、保険金の支払について
1、無診査の場合災害による死亡は全額、普通死亡の時は
第一年度以内　五〇%
第二年度以内　八〇%
第三年度以降全額
2、保険医の診査を受けた人は第一回払込以降全額支払いとなります。

以上内容お含みの上積立に災害の備えに会員の方のお加入をおすすめいたします。

(2)講演会開催について
1、日時　一月十七日午後一時
2、場所　幸田町商工会館
3、講師　中部鹿古実務研究所長　技術経営士鈴木明光先生
4、出席者　商工会青壮年部盟及一般会員の参加をお願いします。

次回は二月上旬学大教授田中茂一先生を依頼する予定。

祝！森川産業操業

幸田工場新春より操業開始

昭和三十六年秋頃上六渠地内に森川産業幸田工場の建設計画がもたらされて以来国の内外における経済状勢の変化に伴う幾多の厳条件を克服し関係者の熱意と市役所上六渠区民の協力によりこの程立派に完成を見、全面的に操業を開始しました同工場はオートバイ及び自動車のエンジン関係の鋳造部品、電化製品の鋳造部品、冷凍冷房用パルブと液体ポンプ部を製造する精密鋳造工場で当町が長年熱望して居た重工業工場であり、完備された厚生施設、近代化された機械設備、現時代にふさわしい工場で、今後同工場が辛々たる発展をするものと各方面から期待されております。

お知らせとお願い

幸田町森林組合

※造林補助金の支払について※

昨年四月に造林された方には大変造林補助金の支払いがおくれ申訳ありませんが、この程県より補助額決定の通知がありましたので、一月末日までには農業を通じ、支払えると思いますので御知らせします。

※昭和三十九年度造林補助申請並びに苗木の註文について※

今年も造林の補助申請と、苗木の註文の時期が来ました。木材の需要は益々増加し、特に小径木は高値に取引きされていますから、積極敢闘による計画的伐採を目標に造林に頑張って下さい。

申請書及び苗木註文の用紙は区長さんにありますから、一月三十日迄に忘れずに申込んで下さい。苗木価格は

すぎ	八円五〇銭
ひのき	八円六〇銭
まつ	三円七〇銭です。

尚防風林用まき等も同時に申込んで下さい。又肥料をやる場合も本年から補助の対象となりましたから、両時に申し込みの上、雑肥造林をして下さい。

※パルプ材の販売は森林組合へ

森林組合では例年に引続き、パルプ材の委託販売を実施致しますからどしどし申込んで下さい。

1、価格は石当り一、八〇〇円です。用材は市場相場に基き引取ります。

若人よ！自衛官になろう

陸上、海上、航空自衛官志望の方は左記により試験が実施されますから受験してください。

自衛隊では、あなた達が自衛官になるのを待って居られます。

記

◉日時一月二六日（日）午前九時
◉ところ　西三河事務所（同市昭和橋南詰）

二月当直医院

二月二日　上田医院
九日　天真堂医院
十六日　神谷医院
二十三日　浅井医院

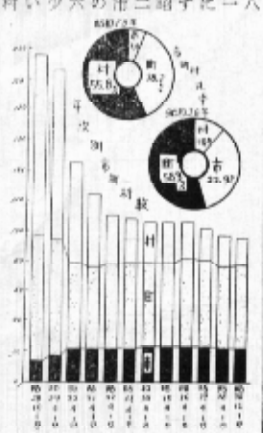
二月保健センター行事予定表

日(曜)	時間	行事	対象	備考
四(火)	午前10～正午	成人病検診	老人検診	
四(火)	午后1～3・30	結核検診	初回（母子手帳を作る方）母子手帳持参下さい	
六(木)	午后1～3・30	離乳食実施講習	母子手帳持参下さい	
十一(火)	午后1～4・30	乳幼児・妊産婦その他一般健康相談	乳幼児＝身長体重測定 妊婦＝母子手帳作成 成人病＝血圧検査	
十八(火)	右同	右同	右同	
十九(水)	午前9・30～11・30	乳幼児検診	昭和三十六年一月生まれで出生した幼児で三才児検診をうけていないもの	
二十(木)	午前9・30～正午	三才児検診	乳幼児・妊産婦その他一般健康相談	
二十五(火)	午后1～4・30	乳幼児・妊産婦その他一般健康相談	乳幼児＝身長体重測定 妊婦＝母子手帳作成 成人病＝血圧検査	

よい子を育てる10章

①子供はいつも親の生活態度をみています。
②家庭の者が、かげ口や悪口をいうことは、幼い心に暗い影を植えつけます。
③子供との約束は必ず守るようにしましょう。
④子供に劣等感を起させるような言葉はつつしみましょう。
⑤すなおな子供は、よいほめ方と、正しいしかり方から生まれます。
⑥心の安静を保めるため、子供のこになって遊びの仲間入りをしましょう。
⑦何事も気安く話す子供に育てましょう。
⑧誰か一人に愛がかたむくと、ほかのものの心がひがんで、反抗的になります。
⑨いつまでも、子供子供と思わずにものごとをひとりでやりぬく力を育てましょう。
⑩三つ子の魂百まで、明るい家庭を築きましょう。

幸田町教育委員会



には二一市、五八町二九村の計八〇八市町村で半数に減少しております。

さらに十年後の昭和三十八年の十二月一日では二二市五六町、一八村の計九六と立り六六パーセントの減少率を目まします。

いかえれば市町村の行政区域が広くなった事は勿論、行政能率が高くなり住民の福祉が増進されたといえましょう。（以下図を参照）